

Qualia Exciting Classic Concert

—クオリア エキサイティング クラシックコンサート—

第7回 クオリア大賞 受賞記念コンサート

選ばれた若き演奏家と、国内外で活躍する
トップアーティストが共演！
心に迫り来る、エキサイティングな時間をお楽しみください。

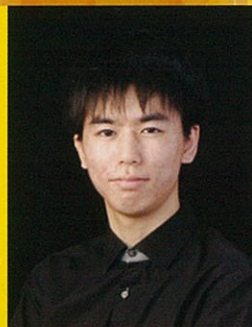
第7回クオリア
音楽コンクール大賞
受賞者

宮崎 絢花
(ヴァイオリン)
Ayaka Miyazaki,
Violin



第7回クオリア
音楽コンクール大賞
受賞者

宮里 倫史
(ピアノ)
Motoshi Miyazato,
Piano



大谷 玲子 (ヴァイオリン)
Reiko Otani, Violin



大江のぞみ (ヴィオラ)
Nozomi Oe, Viola



林 裕 (チェロ)
Yutaka Hayashi, Cello



古部 賢一 (オーボエ)
Kenichi Furube, Oboe

特別出演 若きヴィルトゥオーゾ受賞者

友近 凧紗 (ピアノ) Nagisa Tomochika, Piano

フォーレ：ピアノ四重奏曲 第1番 ハ短調 Op.15
モーツァルト：オーボエ四重奏曲 ヘ長調 K.370
シューマン＝リスト：献上

ライヒャ：オーボエ五重奏曲 ヘ長調 Op.107
リスト：超絶技巧練習曲 第5番 変ロ長調「鬼火」

2017年9月16日(土) 15:00 開演 (14:30 開場)

茨木市市民総合センター クリエイトセンター・センターホール 茨木駅前四丁目6番16号 ☎072-624-1726

コンサート
入場料

全席指定 /2,000 円 青少年(24歳以下)1,000 円

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKA メセナカード各会員は 10% 引き (この取り扱いは財団のみです)
※就学前のお子様はご遠慮ください。

6月18日(日) 9:00 予約開始

財団の発売初日はインターネット・電話予約のみです。残席がある場合は翌日から窓口販売いたします。

公益財団法人茨木市文化振興財団・文化事業係

☎072-625-3055 (9:00~17:00) /インターネットチケット www.ibabun.jp

財団の発売初日はインターネット・電話予約のみです。

予約後は1週間以内に下記のチケットカウンターでご精算ください。チケットの引取り・窓口販売は発売翌日からです。

◎クリエイトセンター 1階チケットカウンター(9:00~17:00)

◎福祉文化会館 3階チケットカウンター(9:00~17:00)

*インターネット予約については、コンビニ(セブンイレブン、サークルK、サンクス)で

ご精算・受取いただけます。(要手数料 108 円)

*予約チケットの郵送をご希望の場合は、(チケット料金+郵送手数料 400 円)を郵便局備え付けの

「払込取扱票」でお支払いください。手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。

〈払込口座〉00970-7-190576 /加入者名：茨木市文化振興財団

■その他プレイガイド(初日店頭販売あり 10:00~)

ローソンチケット 0570-000-407(オペレーター対応)・Lコード予約 0570-084-005(Lコード 56398) <http://l-tike.com/>

*ローソンチケットの取り扱いチケットは、ローソン、ミニストップ各店舗で直接購入できます。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード 330-491) <http://pia.jp/>

*チケットぴあの取り扱いチケットは、セブンイレブン、サークルK、サンクス各店舗で直接購入できます。

チケットの
お申込み
お問合せ



JR 茨木駅から東へ徒歩10分。阪急茨木駅から西へ徒歩12分。

宮崎 絢花(ヴァイオリン)

第7回 クオリア音楽コンクール大賞受賞者

4歳半よりヴァイオリンを始める。

第70回全日本学生音楽コンクール大阪大会第3位、全国大会横浜市民賞(聴衆賞)及び入選。第24回日本クラシック音楽コンクール高校の部第4位、第26回同コンクール高校の部第2位(最高位)。第21回 KOBE 国際音楽コンクール最優秀賞、神戸市民文化振興財団賞。第35回アゼリア新人演奏会に出演、優秀賞受賞。第2回豊中音楽コンクール第1位、最優秀賞(豊中市長賞)。2011~2017年まで「佐渡裕とスーパーキッズオーケストラ」に在籍、2016年度コンサートミストレスを務める。

これまでに、林美紗、田村千恵子に師事、増永花恵より指導を受ける。現在、玉井菜採に師事。兵庫県立西宮高校音楽科を経て、現在東京藝術大学1年に在学中。

宮里 倫史(ピアノ)

第7回 クオリア音楽コンクール大賞受賞者

1995年生まれ。三重県出身。3歳よりピアノを始める。

2012年ピティナ・ピアノコンペティションG級金賞併せて東京都知事賞、読売新聞社賞、ヒノキ賞、王子ホール賞、洗足学園前田賞受賞。同年第66回全日本学生音楽コンクール高校の部第3位。2013年第23回日本クラシック音楽コンクール高校男子の部第2位。2016年第7回クオリア音楽コンクールピアノ部門大賞受賞。

これまでに、平子友子、長谷川淳、岡田将、清水皇樹に師事。愛知県立明和高等学校音楽科を経て、現在東京藝術大学音楽学部4年。

大谷 玲子(ヴァイオリン)

桐朋学園大学卒業、同研究科修了。ブリュッセル王立音楽院大学院を最優秀賞で首席卒業。東儀祐二、曾我部千恵子、原田幸一郎、小栗まち絵、江藤俊哉、イーゴリ・オイストラフに師事。H. クレバース、Y. ニーマンの教えを受ける。

1993年日本音楽コンクール第1位、増沢賞受賞。1996年ウィエニャフスキ国際コンクール最高位入賞、併せてウィエニャフスキ協奏曲、ポロネーズ、ソナタの各最優秀演奏賞を受賞。他、シュポア、日本、エリザベート王妃、アンノファー、シベリウス等、数々の世界最難関の国際コンクールに入賞。メニューイン指揮シンフォニア・ワルシャワ、ベルギー王立フランダース・フィル、ハノーヴァー放送響、オランダ室内管弦楽団等、欧州の数多くのオーケストラと共演。国内では東京シティフィル、大阪センチュリー響、関西フィル、九響、札幌、いづみシンフォニエッタ大阪等の定期演奏会のソリストとして共演を重ねている。2002年、音楽クリティック・クラブ奨励賞、ABC音楽賞・クリスタル賞、さらに、大阪市より咲くやこの花賞をそれぞれ受賞。

2008年にリリースされたCD「イザイ：無伴奏ヴァイオリンソナタ全6曲」はレコード芸術誌「特選盤」に選ばれたほか、各誌で絶賛されている。2011年CD「Polonaise!」をリリースし、そのCDがきっかけとなり2012年にポーランド・ボズナンにて開催された、ウィエニャフスキ国際コンクール主催の同コンクール歴代優勝者による第1回ワークショップに招聘され、マスタークラス及びリサイタルを行う。2013年モスクワでの第5回ダヴィッド・オイストラフ国際コンクールで審査員を務めた。2014年韓国・トン国際音楽祭に出演。2016年バハの無伴奏ソナタ・パルティータ全曲演奏会を大阪、東京にて行う。

サイトウ・キネン・オーケストラ、いづみシンフォニエッタ大阪のメンバー。現在、相愛大学准教授。京都市立芸術大学、県立西宮高校音楽科、相愛中学・高校の非常勤講師。

大江 のぞみ(ヴィオラ)

東京藝術大学卒業。東京藝術大学大学院修士課程修了。ウィーン国立音楽大学ディプロマ取得。アルベニス財団奨学金でスペイン・ソフィア王妃音楽院音楽祭参加。ディプロマ取得。ヴィオラを免東俊之、ウルリッヒ・コッホ、ジークフリート・フュリンガー、ジェラルド・コセに師事。NHK 洋楽オーデション、東京文化会館、日本演奏家連盟オーデション合格。第9回大曲新人音楽祭優秀賞受賞。ソリストとして京都市交響楽団・団友オーケストラ、関西フィルハーモニー管弦楽団、ソウルフィルハーモニー、アンサンブル鴻巣ヴィルトゥオーゾと共演。

2009年いづみホールにて日本演奏家連盟主催リサイタル。オーケストラ・アンサンブル金沢ヴィオラ奏者、関西フィルハーモニー管弦楽団の首席ヴィオラ奏者(特別契約)を務め、客演首席奏者として、大阪フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、日本センチュリー交響楽団、広島交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、南西ドイツフィルハーモニー交響楽団と共演。2000年よりアンサンブル・ヴィルトゥオーゾ鴻巣(埼玉県)メンバー。2001年よりいづみシンフォニエッタ大阪メンバー。現代音楽の初演に積極的に取り組み、同楽団のメンバーと共にNHK「名曲リサイタル」やFM大阪「くらこれ」などの放送番組に多数出演。いづみホールの機関誌「ジュピター」にエッセイを連載し好評を博す。室内楽ではシェレンベルガー(オーボエ)、デュメイ(ヴァイオリン)、北ドイツ放送交響楽団アンサンブルと共演。2012年南西ドイツフィルハーモニー交響楽団のドイツ・イタリア・スイス演奏旅行に客演ソロ奏者として出演。2013年ルーマニア・エネスコ国際音楽祭出演。2014年より毎年韓国イサン・ユン記念T IMF国際音楽祭出演。北ドイツ放送交響楽団メンバーと室内楽演奏会を行う。

ファーストアルバム「すみれ日和」リリース。京都大学大学院文学研究科文献文化学専攻ドイツ語学ドイツ文学専修聴講生として、自ら執筆中の世界の有名な歌曲やメロディを元にした《ヴィオラ無伴奏作品》を、語学の観点から研究中。

古部 賢一(オーボエ)

大阪生まれ。東京藝術大学卒業後、ミュンヘン音楽大学大学院にてG. パッシンに師事。また、S. ゴールドベルグにも薫陶を受ける。

1991年、小澤征爾率いる新日本フィルハーモニー交響楽団の首席オーボエ奏者に就任。これまでに、ハンブルク北ドイツ放送響、ベルリン・ドイツ響、シュトゥットガルト室内管などにも客演首席奏者としてしばしば招かれている。

ラ・フォル・ジュルネ音楽祭、セイジ・オザワ松本フェスティバル、宮崎国際音楽祭、木曾音楽祭などにも定期的に出演。

リサイタルや室内楽にも積極的に取り組み、ドイツを代表するチェンバロ奏者クリスティーネ・ショルンスハイムとのデュオを国内およびライブツィヒ・パッサム博物館で行うなど、バロック演奏でも高い評価を得ている。他にも、エマニュエル・バユ、諏訪内晶子、榎本大進ら国際的アーティストとの共演も数多く、厚い信頼を寄せられている。2014年には、ライナー・キュッヒル率いるウィーン・フィルメンバーと共演。

現代作品にも積極的に取り組み、日本を代表する現代作曲家である故・林光のソナタを自ら委嘱・初演。近年では2016年春、ポリニ・プロジェクトの一環でベリオ作曲の「セクエンツァVII」を東京文化会館にて好演。また最近では2014年にギタリスト鈴木大介との2曲目となるデュオ・アルバム「Cafe1930」をキングレコードよりリリースするなど、クラシックにとらわれず多彩な共演者とのコラボレーションも展開している。2016年秋には紀尾井ホールにて筆と峰崎尚当作曲の「残月」を好演した。札幌大谷大学芸術学部音楽学科客員教授、東京音楽大学、相愛大学音楽学部非常勤講師。近年では、ミュンヘン音楽大学に招かれてマスタークラスを行うなど後進の指導にも目覚しく、ソニー国際オーボエコンクール・軽井沢、日本音楽コンクールの審査員を務める。

林 裕(チェロ)

東京藝術大学を卒業と同時に藝大フィルハーモニアの首席チェロ奏者に就任。1992年日本演奏連盟新人演奏会で名古屋フィルと共演し、日本演奏連盟賞、中日賞を受賞。1993年大阪フィル首席チェロ奏者に就任。1996年日本音楽コンクールで第1位・黒柳賞を受賞。これを契機に、国内外のオーケストラと多数共演。1994年朝比奈隆指揮=大阪フィル定期演奏会における共演は絶賛を博した。

1996年アフィニス文化財団及びローム音楽財団の奨学生に選ばれ、フライブルク音楽大学大学院留学、首席修了。1998年A・タンスマン国際音楽コンクールでファイナリストとなりディプロマを取得。これまでに青山音楽賞、松方ホール音楽大賞、兵庫県芸術奨励賞、名古屋市民芸術祭賞、名古屋音楽ベンクラブ賞、大阪文化祭賞グランプリ、音楽クリティッククラブ賞本賞、文化庁芸術祭新人賞、佐海キヌ賞、文化庁芸術祭優秀賞などを受賞。

また兵庫県立芸術文化センターシリーズの年間支持率 No.1 奏者になりリサイタルを開催。CD「SOLO ist」にシュタルケルが賛辞を寄せた他、レコード芸術の特選盤になった。「Werke von Popper」は文化庁芸術祭ノミネート作品。これまでに、NHK-BS、ABC、CBC、FM-Osaka などに出演する。チェロを林良一、堀江泰氏、三木敬之、R・フラッシュ、C・ヘンケルに師事。

2010~2016年まで相愛大学准教授を務める。現在、相愛大学、神戸女学院大学非常勤講師、いづみシンフォニエッタ大阪のメンバー。泉の森コンクール審査員。ポッパーチェロコンクール、トルトゥリエチェロコンクール審査員長。「Cellist+Composer+Collection」と題して作曲をしたチェリストの作品を発掘し、録音や演奏会で広める活動をライフワークにしている。

HP <http://yutaka-hayashi.vc>

特別出演

友近 凧紗(ピアノ)

兵庫県立西宮高等学校音楽科1年

ショパン国際コンクール(アメリカ)
ショパン国際コンクール in アジア
ピティナピアノコンペティション

ヤングアーティスト部門第2位
中学生部門アジア大会銀賞
F級ベスト賞